

総括

2022年度を振り返って

1. 事業の実施状況

2022年度は、たすけあい事業「陽だまりクラブ」の利用実績が大きく伸びたのが特徴的でした。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）などからの紹介が非常に多く、公的制度を補うものとして期待されました。背景に、全国的な課題となっている介護人材不足が東広島市でも進行していることが窺えます。加えて、東広島市は介護保険サービスの利用率が全国平均より非常に低く、このことも一因と思われます。

「コミュニティカフェ fun fan 陽だまり」においては、7月に高齢者対象の「百歳体操」を開始したことで、世代を超えた繋がりづくりを促進させることができました。また、12月には予定通り「一時預かり事業」をスタートさせることができました。これらの取り組みは地元テレビ局をはじめ多くのメディアに取り上げられ、大きな反響を得ました。

一方、人材確保では困難を極めました。「陽だまりクラブ」で常勤専任者を配置できなかった他、訪問介護事業においてはヘルパー確保がままならず、依頼に十分に答えることができませんでした。介護人材確保の難しさは当法人のみで解決できる課題ではありませんが、魅力ある職場づくりを進めていくことは大切です。2022年度は「短時間職員就業規則」を整備し、育児中の人も働きやすい環境を整えました。

2. 組織基盤強化について

2022年度は、パナソニックの助成事業「NPO/NGO サポートファンド」に採択されました。この助成事業は「組織基盤強化」をサポートするものです。当法人は設立から20年を超え、行政や地域から信頼が寄せられる団体へと成長しました。「困ったときの陽だまりさん」と頼りにされることもしばしばです。そこで、これまで育んできた取り組みを「東広島之宝」としてずっと残すことが使命と考え、設立メンバーが退いたあとも事業が継続できるように3年計画で組織力強化へと取り組むこととしました。助成事業では、コンサルタントと共に半年かけて組織診断を行い、重点課題と方針を明確にします。そのためのアンケート調査に1月から着手しています。

3. 財政面について

当法人の赤字事業は「陽だまりクラブ」と「コミュニティカフェ fun fan 陽だまり」で、2022年度当初は両事業合わせて約530万円の赤字を見込んでいました。しかし、「コミュニティカフェ fun fan 陽だまり」において補助金の追加、企業協賛金、助成金などの収入があったため、赤字を約100万円に縮小することができました。この結果、法人全体としては約410万円の黒字で2022年度を終えることができました。

事業報告

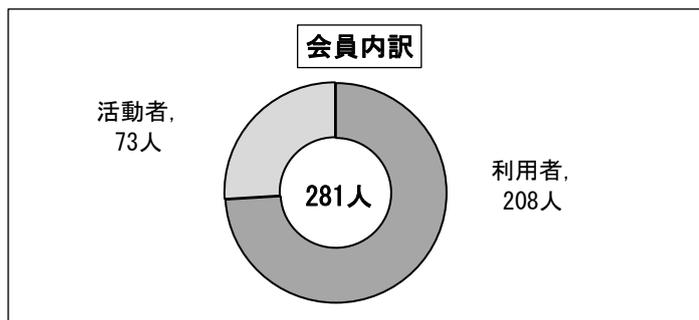
(1) たすけあい事業 陽だまりクラブ（収益事業）

① 目的

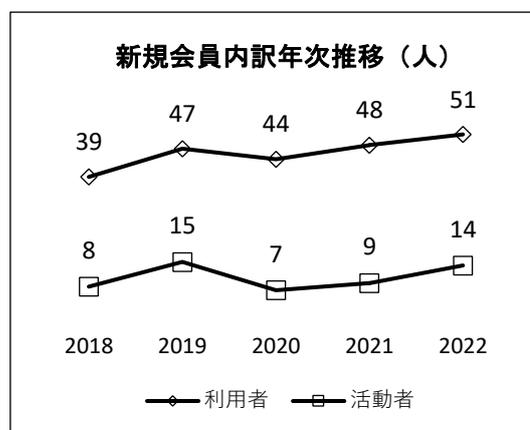
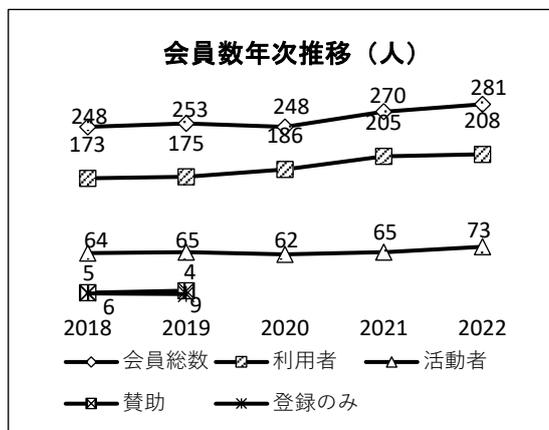
陽だまりクラブは会員制のたすけあい活動です。地域の人々がお互いに助け合うことを趣旨とし、家事や介護といった身の回りのことをはじめ、生活での困りごとをお手伝いします。

② 会員について

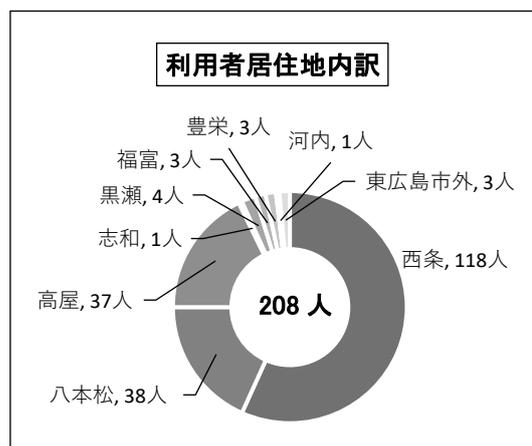
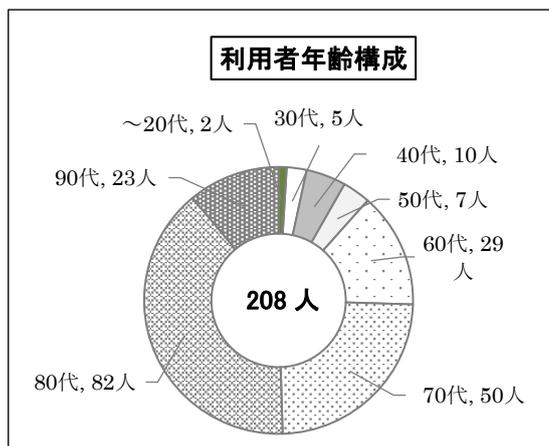
②-i 会員数

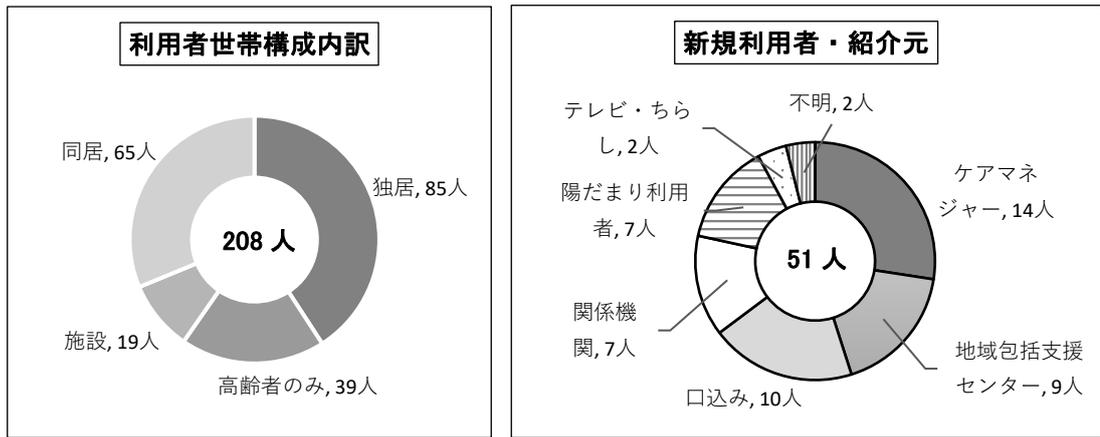


2023年3月31日現在



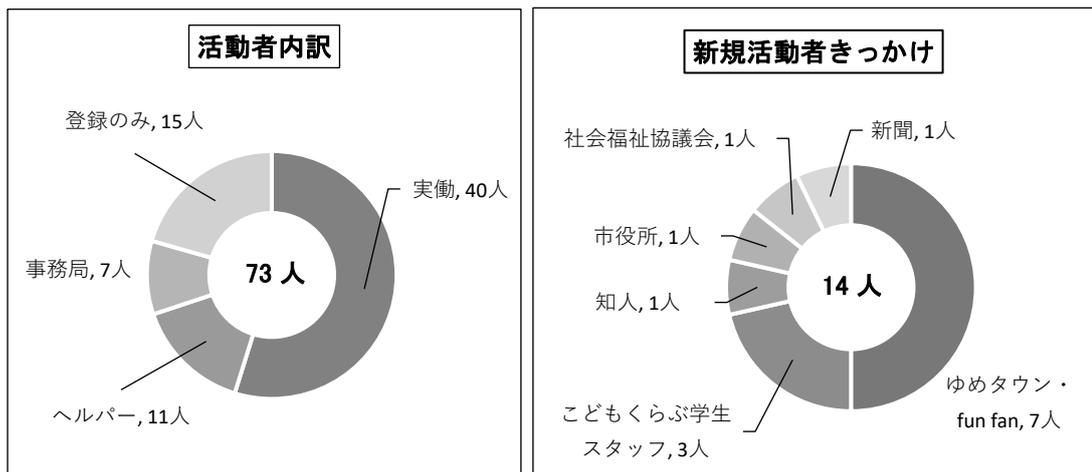
②-ii 利用者



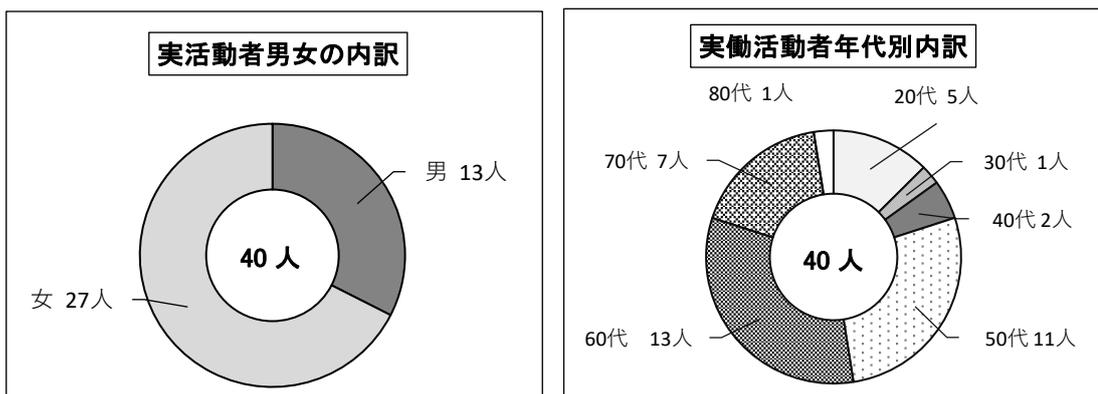


- 1年間の相談件数は104件で、内訳は会員登録が51件、相談のみが53件でした。
- 子育て世代5人が新たに利用者となりました。ゆめタウン東広島内「コミュニティカフェ fun fan 陽だまり」がきっかけとなっています。
- 施設入所の利用者は登録のみで、コロナ前のような外出利用はありませんでした。

②-iii 活動者

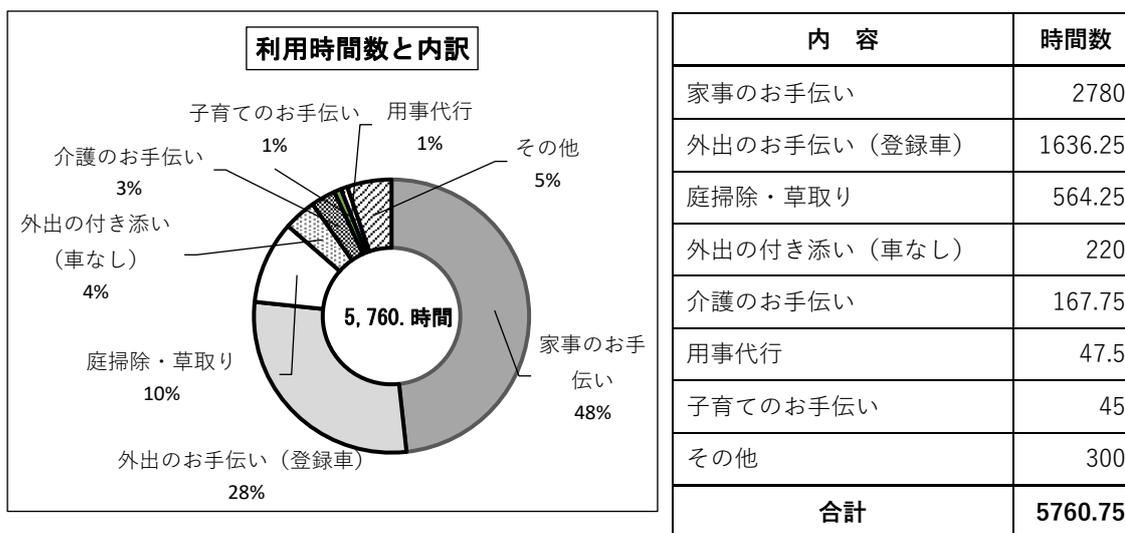
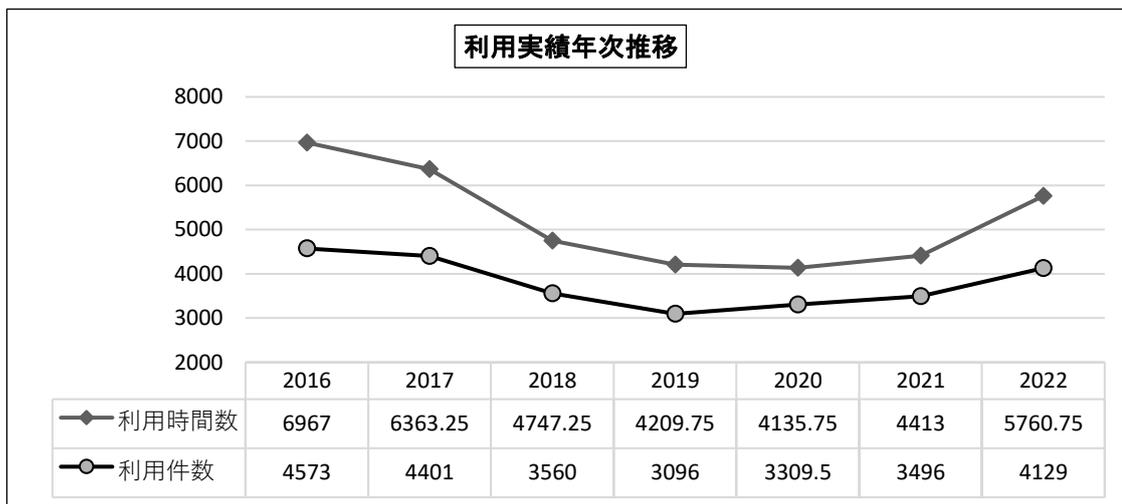


- 登録者のうち、実際に活動した会員は40人でした（事務局スタッフ、登録ヘルパーを除く）。2021年度実績23人の173%でしたが、まだ需要に対し不足気味の状態です。
- 新規活動者14人のうち2023年度継続は9人でした。定着に課題があります。
- 活動のきっかけでは、ゆめタウン東広島内「コミュニティカフェ fun fan 陽だまり」が半数を占めており、陽だまりクラブの窓口を置いた効果が現れています。



- 実活動者の男女内訳は女性 67%、男性 33%でした。2021 年度より男性の比率が 5%増えています。
- 実活動者のうち 60 代以上が 53%で最高齢は 82 歳でした。2021 年度より 10%増加し、活動者の高齢化が進んでいます。一方で、元気な高齢者にとっては生きがいと健康維持の場となっています。

③ 実績報告



[内容例]

- 家事のお手伝い・食事の支度、買い物、掃除、洗濯など
- 外出のお手伝い(登録車)・陽だまり号や活動者の車を使って外出
- 庭掃除・草取り・草刈り、草刈り、剪定、野菜や花の植替え、落ち葉掃きなど
- 外出のお手伝い(公共交通機関)・電車、バス、タクシーを利用して外出
- 介護のお手伝い・見守り、話相手、トイレ介助、デイサービスの送り出しなど
- 用事代行・振込み、市役所での手続きなど
- 子育てのお手伝い・子守り、離乳食づくり、家事のお手伝い、産前産後のお手伝いなど
- その他・ペットの世話、入院中のお世話、散髪、地区の溝掃除、大掃除、ゴミ捨て、日曜大工など

- 2023年3月に利用のあった会員数は79人で、利用件数はのべ338件でした。1日あたり平均13件(日祝除く)、1回あたりの平均利用時間は1.4時間でした。
- 2021年度と比較し、外出の付き添い(車なし)205%、家事のお手伝い138%、外出のお手伝い(登録車)135%の利用が大きく伸びました。介護保険サービスや障害福祉サービスを補う傾向が強まっています。
- 外出のお手伝い(登録車)の目的は、通院67%、買い物20%です。付き添い希望が大半であり、医療機関では医師の話しを一緒に聞くことも増えています。

④ 研修報告

④-i 主催研修

	月日	内容	講師	受講生
1	6/4 6/5	「第1回福祉有償運送運転者講習会」 ・認定講習/セダン講習	・理学療法士 倉西達之氏 ・陽だまりスタッフ	受講者16人 ・外部参加15人 ・陽だまり1人
2	10/15 10/16	「第2回福祉有償運送運転者講習会」 ・認定講習/セダン講習	・理学療法士 倉西達之氏 ・日本自動車連盟広島支部 ・陽だまりスタッフ	受講者15人 ・外部参加14人 ・陽だまり1人
3	3/19	「安全運転講習会」	・日本自動車連盟広島支部	受講者16人

- 活動者への新人研修は随時行い、法人の理念・沿革、注意事項などを伝えました。

⑤ 社外活動

⑤-i NPO法人全国移動サービスネットワーク

月日	内容	場所	参加者
6/18	通常総会 / 「地域共生社会づくりと移動サービスを考えるフォーラム」	オンライン参加	宮本

※ 2015年度より宮本理事が全国移動サービスネットワーク理事に就任。

⑤-ii 広島県移動サービスネットワーク

月日	内容	主催	場所	参加者
9/13	「住民互助による移動支援サービスの立ち上げ方」	広島市社会福祉協議会	安佐南区総合福祉センター	(講師) 宮本、市川
11/4	「地域共生社会づくりと移動手段の確保～移動サービスの立ち上げ支援～」 ※共同募金配分事業	・広島県 ・広島県移動サービスネットワーク	広島市東区民センター	・一般91人 ・陽だまり3人 (宮本、市川、新川)

※ 広島県移動サービスネットワークの事務局は陽だまりで、会長は宮本理事です。

(2) 訪問介護（収益事業）

① 目的

- 法人全体の事業を運営していくための収益事業です。
- 介護を必要とされる方々が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、また、介護をされているご家族の負担を軽減できるよう支援を行います。

② 実績報告

②-1. 利用者実数

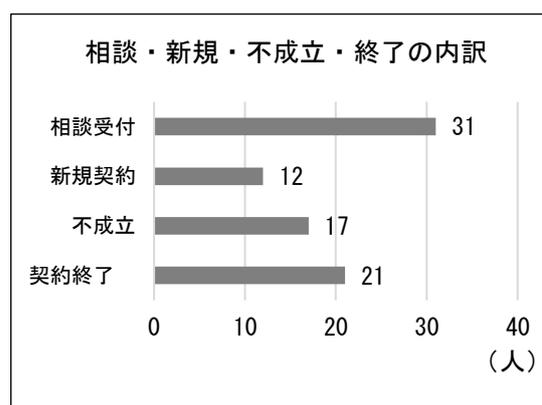
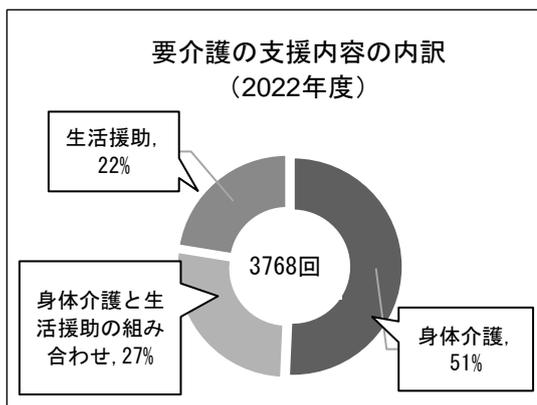
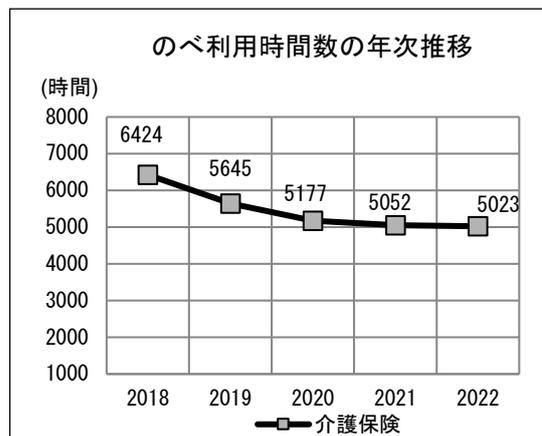
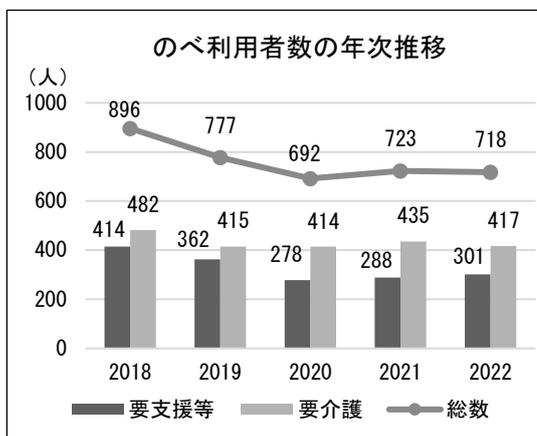
2023年3月31日現在

介護保険								障害者 総合 支援	計
事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5		
1人	15人	10人	22人	4人	1人	1人	3人	6人	63人

※注1) 事業対象者…要介護認定がなく、基本チェックリストに該当し、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問介護サービスを利用している方。

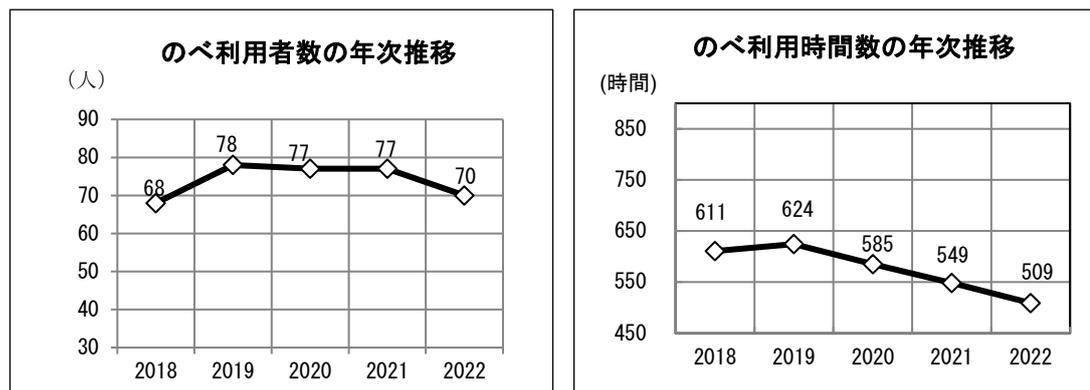
- 管理者（サービス提供責任者と兼務）1人、サービス提供責任者1人、登録ヘルパー11人で事業を行いました。
- 利用者実数は、2021年度70人から7人減でした。

②-2. 介護保険



- 要介護の支援内容の内訳は、2021 年度と比べいずれも横ばいでした。
- 相談は、2021 年度より 25%減でした。紹介ルートは居宅介護支援事業所 25 人、地域包括支援センター6 人でした。
- 新規契約数 12 人のうち、ターミナルケアは 3 人でした。
- ヘルパー不足のためお断りするケースが多くありました。
- 契約終了内訳は、入院入所 9 人、死去 3 人、自立 1 人、事業所変更 6 人、その他 2 人でした。

②-3. 障害者総合支援



のべ利用者数、のべ利用時間数ともには 2021 年度より減少しました。

③ 研修報告

③- i 社内研修

	月日	内 容	参加人数
1	4/21	倫理・法令順守	13/13
2	5/19	接遇について	12/13
3	5/26	法人としての理念（市川代表）	12/13
4	6/16	感染症（高橋・山本三千代）	11/13
5	7/21	認知症（原田・濱中）	11/13
6	7/28	東広島市社会福祉協議会出前講座 「災害に備えて」	13/13
7	8/18	ヒヤリハット（佐伯・禎田）、個人情報・プライバシー保護	11/13
8	9/15	食中毒、全体カンファレンス	12/13
9	9/22	東広島市出前講座 「こころの健康づくりについて」	13/13
10	10/13	災害発生時対応	13/13
11	10/20	調理（田原・金安）	10/13
12	11/10	東広島市出前講座 「高齢者虐待について」	13/13
13	11/17	高齢者障害者虐待の事例検討（向井・児玉）	13/13
14	12/15	広島県介護福祉士会出前講座 「排泄」	13/13
15	1/12	緊急時の対応、事故再発防止（田村）	12/13
16	1/19	広島県介護福祉士会出前講座 「更衣介助」	12/13

17	2/9	利用者からのハラスメント、	13/13
18	3/9	カンファレンス	13/13

※ 個別カンファレンスは適宜実施

③-ii 社外研修

	月日	内 容	主 催	参加 人数
1	6/5	～災害に備えて～命を守る（WEB）	地域活動支援センターときわ	2
2	7/19	介護サービス事業者のBPC義務化で押さえておくべきこと（WEB）	ワイズマン	1
3	10/21	怒りと上手に付き合うコツ	地域活動支援センターときわ	3
4	10/29	命を守る水 見直そう！脱水症&熱中症	地域連携室「あざれあ」	5
5	11/10	頻発する災害に備えて～災害用備蓄食について～（WEB）	地域連携室「あざれあ」	1
6	12/21	悪徳商法について（WEB）	地域活動支援センターときわ	1
7	1/12	ヨーグルトのひみつ	地域連携室「あざれあ」	4
8	2/5	発達障害における地域連携の強化勉強会	広島県健康福祉局障害者支援課	1
9	2/9	発達障害における理解と配慮	地域連携室「あざれあ」	1

④ 社外活動

- 「東広島市自立支援協議会ヘルパー支援部会」にサービス提供責任者が8回参加し、スキルアップ研修企画、ヘルパー不足解消に向けた企画（高校や小学校での福祉授業、お仕事PR動画作成、福祉専門学校と協働等）に取り組みました。また、補助金情報や事例の共有などを行いました。
- 東広島市社会福祉協議会主催の福祉体験授業において、近隣小学校でのアイマスク体験と車いす体験授業に計3回参加協力しました。
- 地域活動支援センターときわ主催『なるほどなっとくセミナー』において、「訪問介護の現状」をテーマにサービス提供責任者が講師として参加しました。

(3) 放課後こどもくらぶ（非収益事業）

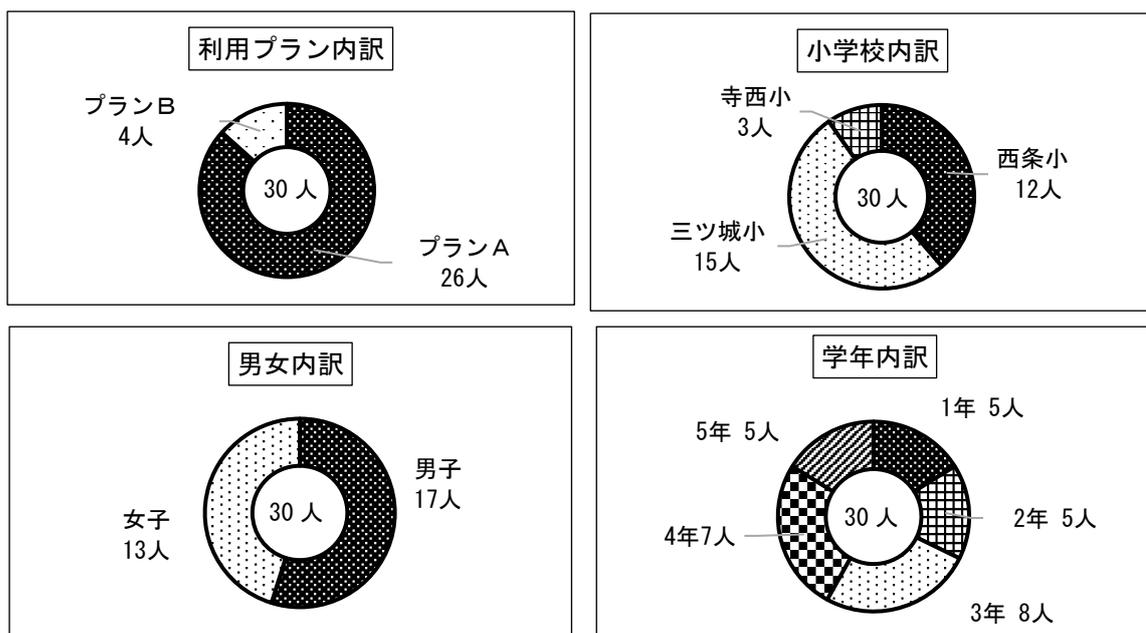
① 目的

「じぶんを大切にする子を育てる」をモットーに2013年度、主に公立の学童保育を利用できない小学生を対象に開始し、2017年度から東広島市の補助事業として運営しています。

② 実績報告

- 常勤2人、非常勤1人、学生スタッフ9人（7月末から2人増員）で事業を実施しました。

②-i 利用登録実数



(2023年3月31日現在)

※ プランA（定員25人）…東広島市の利用要件を満たす児童、プランB（定員3人）…プランA以外

- 保護者が非就労となった児童1人（プランA）が、年度途中で退会しました。
- 特別な配慮を要する児童は自閉症スペクトラム1人、知的障害1人でした。

②-ii 一時利用

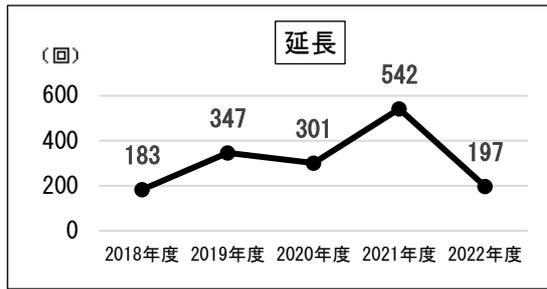
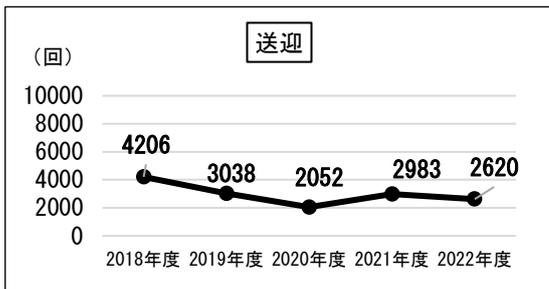
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
児童実数	3	2	1	1	1	2	3	3	3	1	1	1	1.8
のべ回数	4	2	1	2	1	8	12	9	7	2	2	6	4.75

- 不登校気味だった発達障害のある児童が、9月～12月に利用しました。

②-iii 相談・問い合わせ

- 一般利用相談11件、夏休み限定利用相談6件、次年度相談11件でした。
- 2023年度の申し込みは13人でした。その内、在籍児童の兄弟2人は案内出来ましたが、残り11人は待機となりました。2023年4月時点で8人が待機しています。

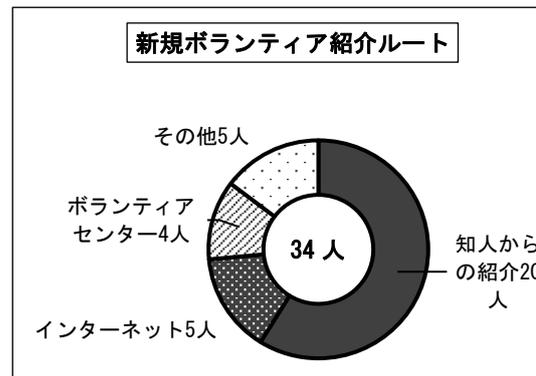
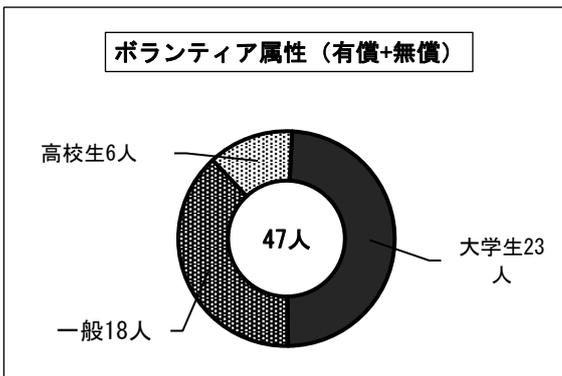
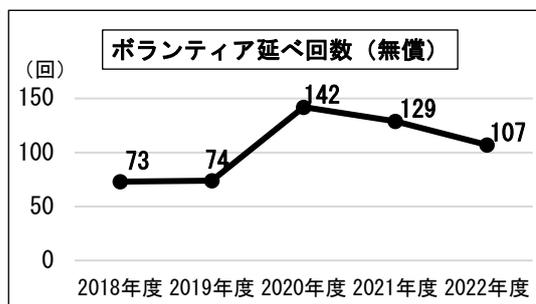
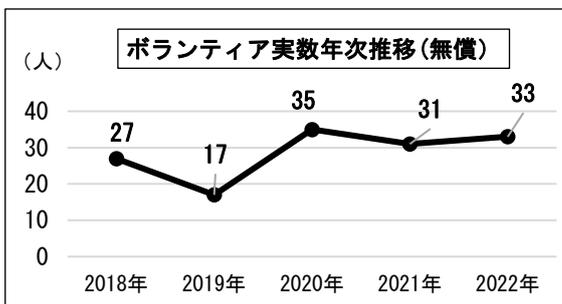
②-iv 送迎・延長利用



- 延長については、兄弟で利用していた家庭の利用がなくなったため大幅に減少しました。

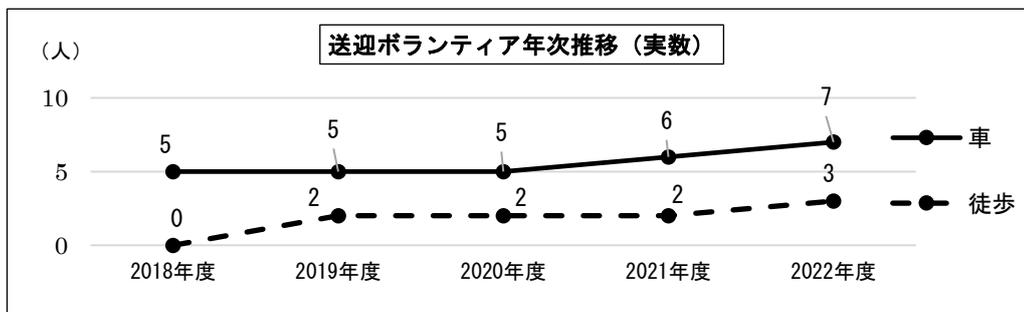
③ ボランティア

③-i ボランティア



- 新規ボランティアの内訳は、無償 33 人、有償（送迎・徒歩）1 人でした。
- 有償ボランティアは送迎とおやつ作り、無償ボランティアは子どもとの遊び・宿題です。

③-ii 送迎ボランティア



③-iii おやつボランティア

- 毎週金曜日を 1 人の方に担当してもらいました。

④ 体験活動

月	内 容
4月	オリエンテーション、五月飾り作り（保護者企画）
5月	かしわ餅づくり
6月	バラのオーナメント作り（保護者企画）、笹飾りと短冊飾りの工作、避難訓練（不審者）
8月	灯籠づくり（保護者企画）、夏祭り
9月	避難訓練（地震）
10月	芋ほり遠足、ハロウィン工作（保護者企画）、ハロウィンパーティー
12月	ガラスドーム作り（保護者企画）、手指消毒講習会、バードコーリング工作
1月	初詣遠足、正月遊び
2月	節分豆まき、避難訓練（火災）、雛飾り作り（保護者企画）
3月	江崎グリコのプログラミングイベント、お別れ遠足（憩いの森公園）

- 上記表の他、毎月の誕生日会では「駄菓子パーティ」を実施しました。

⑤ 保護者行事

	月日	内 容	参加者
1	6/13~6/17、2/13~2/17	オープンくらぶ（1日1人限定）	6人
2	7/3	保護者交流会	7人
3	10/17~10/21	保護者面談	全員
4	11/3	親子交流会（鏡山公園でフィールドビンゴ等）	6組
7	3/19	親子交流イベント（カードゲームで遊ぼう）	3組

- 4番の親子交流会は学生スタッフによる企画で行いました。

⑥ 研修報告

⑥-i 社内研修

	月日	内 容	非常勤/ 参加者数
1	5/31	自己点検チェックシート、水遊びのルール	5人/7人
2	7/20	公園の利用の仕方、熱中症対策	4人/8人
3	9/30	暴言を吐く子への対応、自己点検チェックシート（2回目）	5人/8人
4	11/28	保護者面談の共有、感染症について、嘔吐物処理のシミュレーション	7人/11人
5	2/28	2023年度利用児童について、保護者アンケート	8人/11人

- こどもくらぶの理念・方針、子どもの情報共有は毎回実施しました。
- 不参加のスタッフには後日改めて研修を行いました。

⑥-ii 外部研修

- 発達障害児への支援、遊びや制作活動をテーマにした研修に計3回、のべ3人が参加しました。

(4) コミュニティカフェ fun fan 陽だまり (非収益事業)

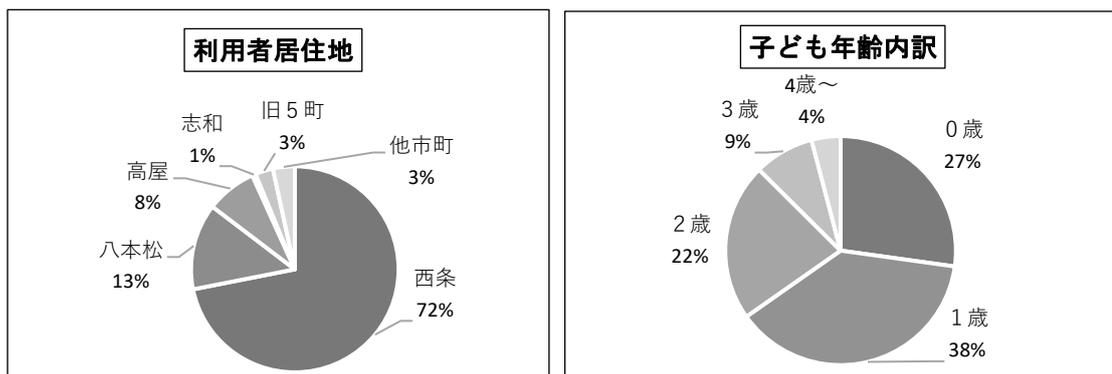
① 目的

未就学児の親子を対象とした子育てひろば事業を中核に、いろいろな人が出会いつながりを紡ぐ場所（地域共生）として2021年12月10日、ゆめタウン東広島内に開設しました。子育てひろばは「東広島市地域子育て支援拠点事業」の補助事業として運営しています。

② 実績報告

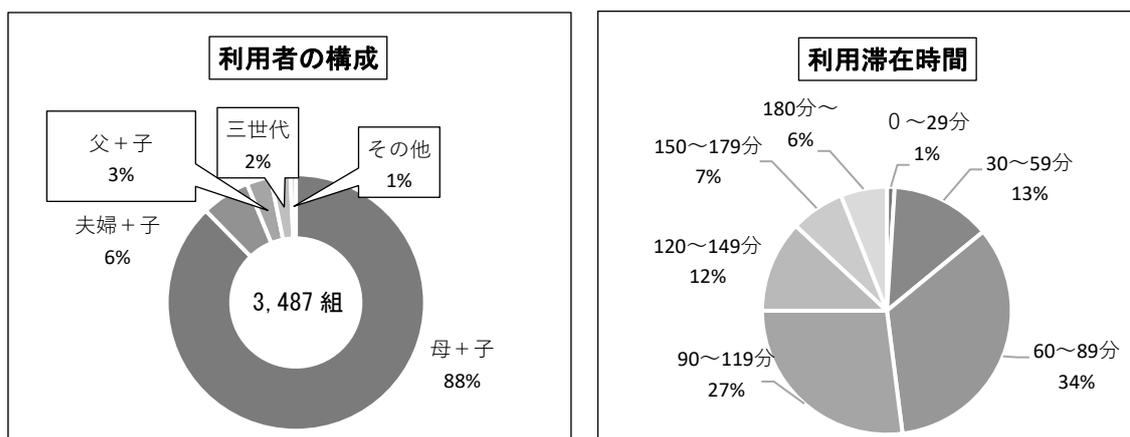
- 2022年度末は常勤2人（うち1人は陽だまりクラブと兼務）・非常勤7人（うち保育士4人）・学生スタッフ2人・活動者2人の人員で、子育てひろばを4人体制で運営しました。
- 2022年12月15日から一時預かり事業を開始しました。子育てひろばにおける一時預かり事業は東広島市で初、かつ唯一の施設となりました。
- 延べ来店者数は、計12,281人（ひろば7,984人、一時預かり296人、カフェ3,263人、地域共生イベント738人）でした。

②-i 子育てひろば（火～土 / 10:00～16:00）

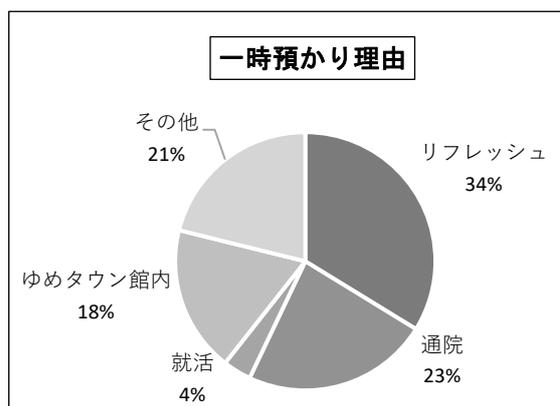
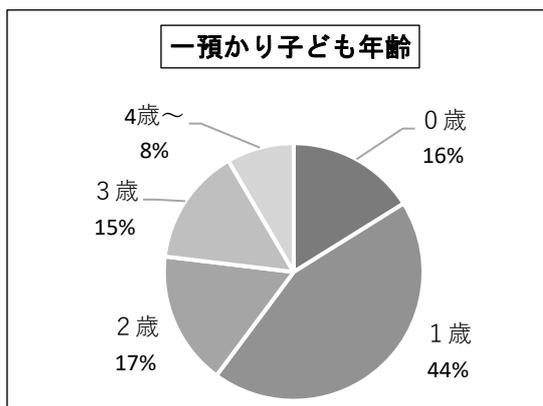


※ 居住地について 旧5町・河内町・福富町・豊栄町・黒瀬町・安芸津町

- 2022年度の新規登録は613組でした。
- 延べ利用人数7,984人（大人3,799人、子ども4,185人）、延べ利用組数3,487組、1日平均利用組数14.4組（目標1日20組）、リピート率84%でした。

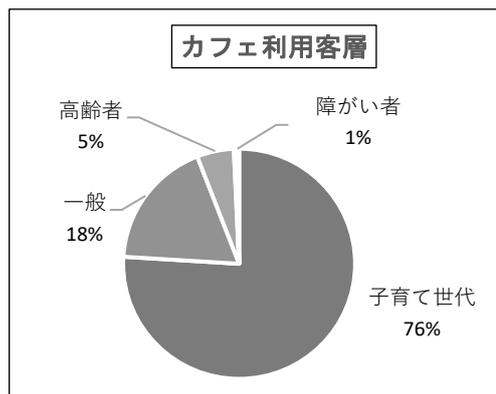
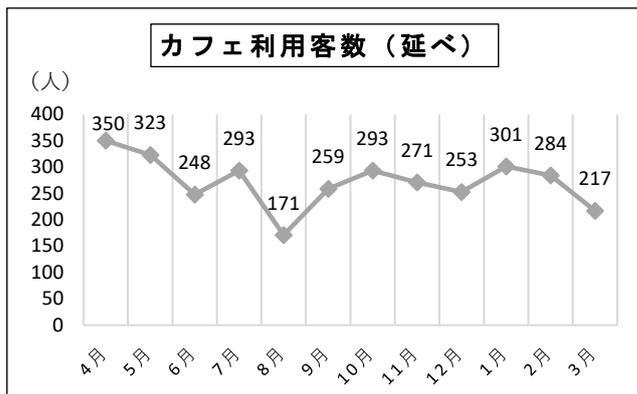


- 利用者の構成は母子が大半ですが、土曜日は父親の割合が3割強でした。
- 利用者の滞在時間は2021年度と同傾向で、過半数が1.5時間以上滞りました。



- 延べ預かり児童数は152人で1日平均2.2人、リピート率は55%でした。
- その他の理由には、美容院、家庭の用事、引っ越し準備、他のきょうだいの用事、市役所・銀行での用事、預かりの練習、勉強などがありました。

②-ii カフェ（火～日/10:00～19:00）



① ひろば利用者を除く

- 東広島市内の障がい者就労支援施設で作られた食品を販売しました。

施設名	販売物
(社福) 平成会 あおぞらぱん屋さん	パン、パウンドケーキ、シフォンケーキ等
(社福) つつじ 多機能型事業所ウイング	クッキー
就労継続支援B型事業所エミリィプラス	ドリップコーヒー

- ひろば利用者3人と地域の作家さん2人のハンドメイド作品を展示販売しました。
- ドリンクメニューとしてコーヒー、紅茶、ルイボスティ、アップルジュース、麦茶を販売しました。

②-iii イベント

(ア) 子育てひろば

【地域の専門家・子育てサークル・ボランティア】

	内容	協力	実施回数	参加組数
1	足育おはなし会	こどもみるひと ふくだ (PT)	1	5
2	子育てあるあるお話し会	Uamalelu (助産師・看護師)	10	55
3	栄養相談会	江崎グリコ (栄養士)	12	83
4	おやこで国際交流	大学生、ひろば利用者	5	40
5	じょさんしタイム	柳谷助産院	12	52
6	様々な疾患や障害を持つお友だち集まれ	Ha-re-ru (子育てサークル)	3	15
7	絵本の紹介・手遊び・読み聞かせ	つながる絵本のわ	4	28
8	子どもとすうがくの出会い	ひろば利用者 (中学教師)	1	9
9	歩くまでの赤ちゃん発達講座	なないろ (PT)	1	4
10	パパママのからだ相談会	AWAVE (PT・ヨガインストラクター)	2	9
合計			51	300

- 講師のほとんどが無償協力でした。

【市役所主催】

	内容	講師	実施回数	参加組数
1	ママのための骨密度測定会	保健師、理学療法士	1	7
2	小児科医による子育て講座	高橋ホームクリニック医師	1	8
合計			2	15

【fun fan スタッフ】

	内容	実施回数	参加組数
1	ねんねちゃんあつまれ	1	7
2	バランスボール	12	62
3	お誕生日会	3	15
合計		16	84

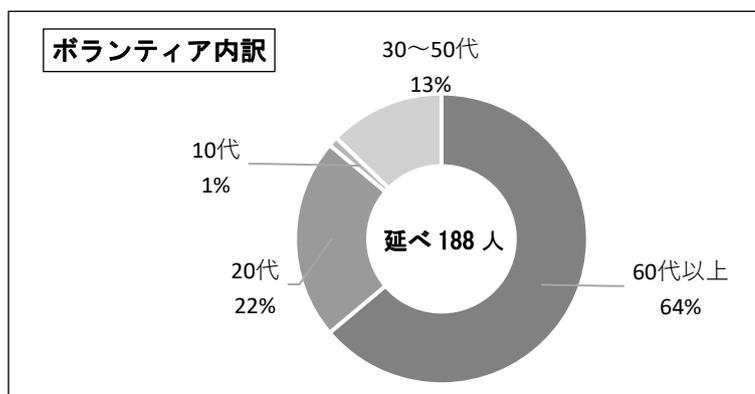
(イ) 地域共生 (交流) イベント

	内容	協力	実施回数	参加人数
1	百歳体操	東広島市 (導入サポート)	34	231
2	プチ整体	陽だまりクラブ活動者	12	265
3	パパタイム	柳谷助産院	8	21
4	両親タイム	柳谷助産院	8	3

5	熊本地震体験談	カフェ利用者	2	10
6	fun fan 夏祭り	大学生有志	1	95
7	夏の思い出フォトフレーム	こどもくらぶ保護者	1	5
8	簡単たのしいイニシャルクイニング	Ajuga	1	6
9	ぬくぬく冬祭り	広島国際大学・渡辺ゼミ生	1	33
10	fun fan クリスマス会	大学生有志	1	33
11	新聞ちぎり絵	陽だまりクラブ活動者	12	46
合計			81	748

- 一部は「積水ハウスマッチングプログラムの会」の助成金を活用して実施しました。

③ ボランティア



- 60代以上は陽だまりクラブ活動者と百歳体操の参加者で、掃除や親子との交流を手伝ってくれました。
- 20代は大学生で、掃除や親子との交流の他、大学生企画イベントでは運営を担ってくれました。

④ 研修

- 毎月1回社内研修を開催し、事業目標・業務内容・利用者情報などの共有を行いました。

(5) 地域活動

① お茶会の開催

	月日	内 容	参加者	会場
1	5/18	百歳体操	4人（うち活動者2人）	陽だまり事務所
2	7/21	テーブルゲーム	5人（活動者2人）	fun fan 陽だまり
延べ人数			9人	

② 光の宴

	月日	内 容	参加者	会場
1	10/1	「バルーンアート」ブース手伝い	8人（うち6人学生）	三ツ城古墳公園

- こどもくらすの学生スタッフが初めて参加し、地域の方と交流を図る機会となりました。

(6) 広報活動

① 陽だまり通信

- 予定通り、62号（7月）、63号（12月）、64号（3月）を発行しました。

② メディアへの出演・記事掲載

	月日	メディア	内 容	備 考
1	6/4	中国新聞	西条の子育て拠点 多世代交流の催し	記事
2	6/9	プレスネット	外国人親子と国際交流	記事
3	7/28	NHK「お好みワイド」	子育て施設で高齢者が体操教室	テレビ
4	8/19	中国新聞	介護予防図る「通いの場」	記事
5	9/8	中国新聞	育児や介護 助け合い支援	記事
6	11/3	広島ホームテレビ「5up」	高齢者の困りごと解決現場に密着	テレビ
7	12/19	プレスネットデジタル版	子ども一時預かりスタート！	ネット
8	12/28	中国新聞	一時預かりスタート	記事
9	1/11	広島ホームテレビ「5up」	ママも緊張・幼児一時預かりの1日に密着	テレビ

(7) その他の活動

① マネジメント力の強化

	月日	内 容	協 力
1	4～2月	ひろばの運営・一時預かり開始に向けて ～資金調達・プレスリリース・チラシ作成など～	東広島ビジネスサポートセンター 「Hi-Biz」
2	1月～	助成事業「Panasonic NPO/NGO サポートファン ド for SDGs」～組織診断～	NPO 法人ひろしま NPO センター 松村 渉氏（コンサルタント）

② 発表・展示・講師派遣

	月日	内 容	主 催	講師
1	9/8	「安芸区ボランティアきっかけ講座」 ～幼児から高齢者までの居場所づくりの必要性と実 際の居場所～	広島市安芸区 社会福祉協議会	市川
2	1/16	「陽だまりの活動」について	広島国際大学 (渡辺ゼミ)	市川 石井
3	2/19	福山市「高齢者おでかけ支援事業運転者講習会」	福山市	石井

③ 視察

月日	視察先	場 所	参加者
1/28	港南台タウンカフェ（株式会社イータウン）	横浜市	市川
	こまちカフェ・こよりどうカフェ（認定NPO法人こまちプラス）		石井

④ まちづくり・協働・ネットワークへの取り組み

④-i 委員の委嘱

会 議 名	担 当 課	委 員
東広島市福祉有償運送等運営協議会	地域包括ケア推進課	宮本

④ - ii ネットワーク

	月日	内 容	主 催	参加者
1	6/14	子育て支援者が集まる会	合同会社ひとむすび	市川・佐々木・ 石井
2	6/21	子育て支援者が集まる会	合同会社ひとむすび	市川・石井

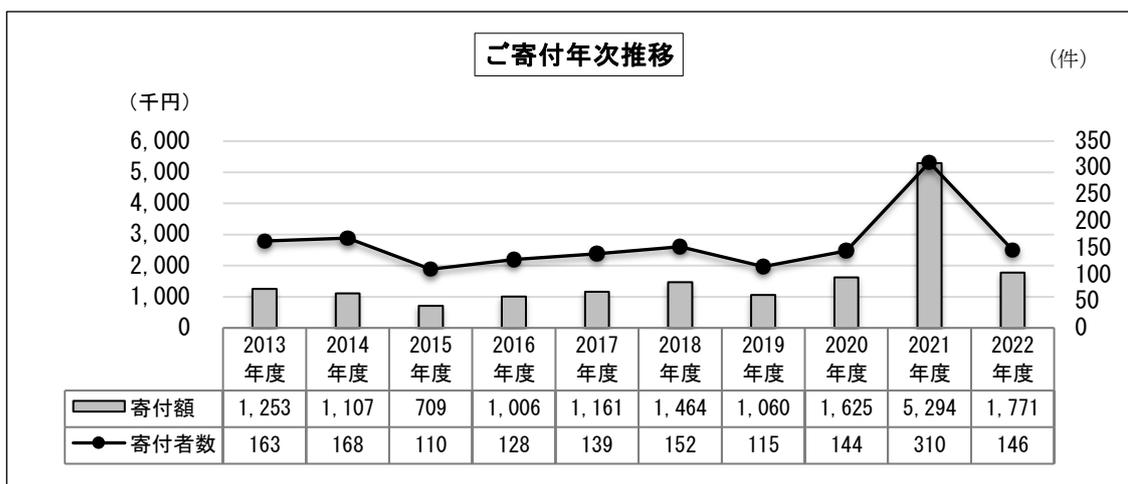
⑤ 寄付

	内 容	寄 付 団 体 等	金 額
1	寄付	個人、企業・団体 計 142 件	1,771,568 円

- P S T※注 2) にカウントできる寄付者は 124 人で、認定 N P O 法人の要件を達成することができました。

※注 2) P S T (パブリック・サポート・テスト)・・・実績判定期間の各事業年度中の寄付金の額の総額が 3,000 円以上である寄付者の数が、年平均 100 人以上であることを求める基準

- クラウドファンディングを行った 2021 年度を除くと、2020 年度とほぼ横ばいでした。



⑥ 協賛金・助成金など

	内 容	寄 付 団 体 等	金 額
1	協賛金	積水ハウス株式会社	600,000 円
2	助成金	積水ハウスマッチングプログラムの会	700,000 円
3	助成金	パナソニック・NPO/NGO 株主ファンド for SDGs 「国内助成」	1,000,000 円
4	寄贈	ゆめタウン東広島・おもちゃ、絵本	
5	配分金	広島県共同募金会・新型コロナ対策	500,000 円
	合計		2,800,000 円

⑦ その他の支援

- NPO 法人日本 NPO センターのデジタル人材コミュニケーションから、「デジタル基盤強化プログラム」の IT 支援を無償で受けました。

	月日	内 容	成果物
1	8/28~8/30	IT 技術者 3 人が現地調査のため来所	・ LINEWORKS の導入 ・ 「fun fan 陽だまり」集計表
2	7/10・7/31・10/23 12/3・1/22・2/26・3/26	オンラインミーティング（7回）	・ シフト調整表 ・ 一時預かり予約管理表 ・ 管理ソフト改善検討